



乃木小だより

～ かしこく つよく やさしい子 ～

～まつえ湖南学園～
松江市立乃木小学校
令和6年6月25日

(文責)校長 野津

= パワー全開 運動会！ =

6月1日(土)、「さあ150(行こう)！パワー全開 顔晴れ(がんばれ)4色」のテーマの下、精いっぱい声を出し、自分やみんなのために汗をかき、勝利に向かって知恵を働かせた今年の校内運動会。150周年の記念にふさわしく「顔晴れ」に満ちあふれた心に残る最高(さあ150 [さいこう])の行事となりました。この日を迎えるにあたり、6年生を中心に短い準備期間を有効に活用し、全校で練習や準備を進めてきました。色別集会では、毎回、学年の枠を超えて、上級生と下級生が一緒になって勝利をめざし協力し合う一生懸命な姿がありました。

当日は、「初めての運動会でドキドキする！」と緊張とワクワク感いっぱいの1年生や、2人3脚の出場直前にパートナーの2人で固い握手を交わしている5年生、勝負に負けて悔し涙を流す4年生も見受けられました。競技に、応援に、役員の仕事に、充実感・満足感で満ちあふれた一人一人の表情が輝いていました。閉会式において色別パフォーマンスの審査結果が発表される瞬間には、手を合わせて祈りながらグランプリ受賞を願う子どもたちが何人もいました。特に、6年生にとっては、心に残る素晴らしい1日になりました。閉会式後、6年生はどの色も関係なく一緒になって大きな円陣を組み、心を一つにして締めくくりました。

150周年記念としてドローンにより上空からの集合写真の撮影もありました。子どもたちだけでなく、大勢の保護者の皆様や、来賓の方々にも入ってもらって撮影した1枚は、本校の歴史における節目の1ページとして末永く残されていくことになります。

なお、保護者の皆様には、子どもたちの競技をご覧ください際には、限られたスペースでご不便をおかけしましたが、皆様からの温かい声援や惜しみない拍手が大きな励みとなりました。ありがとうございました。前日に引き続き、テントの設営や片付けにお手伝いいただきましたことも感謝申し上げます。

運動会が終わった休み明けの4日(火)の1時間目には、色別に分かれて運動会を振り返ってまとめの集会がありました。どの色もお互いの頑張りを称え合い、この「顔晴れ」をこれからの学校生活に生かしていこうと前向きな気持ちを確認し合った子どもたちでした。

これからもこの運動会を大きなステップに、さらに飛躍していく乃木小学校でありたいと思います。心新たに「さあ行こう！」です。



= 150歳の誕生日 =

明治7年に開校した本校は、去る6月18日（火）、150歳の誕生日を迎えました。特別な記念すべきこの日、地域の代表の方をお迎えし、全校朝礼を行いました。

これまで移り変わってきた校舎の写真を見たり、100周年の時に植えられた記念樹を確認したりして、みなでお祝いしました。改めて歴史と伝統を見つめ、先人に感謝し、地域の皆様とともに乃木小学校の新たな一歩を歩んでいきたいと思えます。

また、創立150周年を記念して、記念事業実行委員会より「幟（のぼり）」を作っていただきました。赤・白・青・黄の4色、校舎の周りでたなびいている様子がさわやかに目に映ります。



= 学力育成 研究指定校として =

これまでも様々な機会にお伝えしてきましたが、本校は、松江市学力育成協議会から実践的研究の指定を受け、今年度がそのまとめの年、3年目になります。松江市教育委員会からは、本校の取組が参考となり、松江市内の全体の学力育成に広げていけるようにすることが求められています。

6月22日（金）には、今年度最初の授業公開を行い、3クラスの授業を協議会の委員の皆様に参加していただきました。授業者だけでなく、教員みんなで事前に協議を重ねながら授業構想を練って当日を迎え、授業後は実際の授業を振り返り、今後の授業改善について意見交換しました。

私たちは、授業に関わり、様々な視点から工夫しつつ日々の指導を展開していますが、そのなかでも本校のキーワードの一つは「対話」です。「子どもが対話したくなる授業づくり」です。「表現力」とか「コミュニケーション能力」という資質・能力は、これからの時代を生きる子どもたちにとって極めて大切であるとも言われています。

本校では、日頃の学校生活のなかでの集団づくり、関係づくりを大切にしながら、相手の思いや多様な考えを受け止めようとする姿勢を培うとともに、仲間とともに、学びの過程でわかったことやまだわからないことについて自分から声に出したり、友だちへの伝え方を工夫したりする力を学年に応じて育てていくことで学力育成を図りたいと考えています。一人一人が、対話を通じて考えが深まったり、できなかったことができるようになったりして、ますます学びたくなる気持ちが高まるのが私たちの願いでもあります。

学校での授業と連動し、家庭学習の取組についても、時折「家族での対話（会話）」のネタにしていただけたら幸いです。

